

平成15年度 施策評価表

○総合計画における位置付け等

平成15年6月 5日記入

基本目標	I ▼ 学びあいあたたかさのある福祉文化都市をめざして	施策コード	15210
政策名 (章)	第5章 いきいきとした生涯学習社会をつくります	評価担当課	生涯学習部 ▼
基本施策名 (節名)	第2節 生涯スポーツ・レクリエーションの振興		スポーツ課
施策名	スポーツ・レクリエーション活動の促進	課長名	中村幸一

1 施策の概要・目的

スポーツ・レクリエーション活動は、人々の健康の保持・増進、体力の向上、生きがいづくりなどの面で大きな役割を果たすとともに、人々との交流を深め連帯感を生みだし活力あるまちづくりの一助となる。このため、市民がいつでも、気軽にスポーツ・レクリエーション活動ができるよう、各種教室や大会等の拡充を図るとともに、多様な機会の提供に努め、地域スポーツ・レクリエーション活動を促進する。

2 施策の現状

市民は「楽しみ」、「健康」、「交流」の様々な目的からスポーツを行っている。その内容も軽い運動から競技性の強いスポーツまで非常に多様化し、市民それぞれの目的が達成されるよう様々な取り組みに努めてきた。しかしながら、地域における自主的・主体的なスポーツ活動の取り組みに対する施設等の需要に対する対応が図れない状況もあり、生涯スポーツ社会の実現に向けた地域のスポーツ環境の整備充実が必要となる。

3 総事業費及び人員

(1) 施策に要している総事業費

219,738 千円……構成事務事業全体の事業費合計(人件費含む)

(2) 市民1人当りの事業費

357 円/人……人口は、**61.6** 万人とした。(平成15年4月1日現在人口)

(3) 全施策中の順位(事業費)

この施策の市民一人当たり事業費は、全123施策のうち、第 **67** 番目です。

(4) 施策に要している人員

4.51 人……構成事務事業全体の人員合計

4 評価指標

指標	指標名および指標式	指標の意図	現状値と目標値			目標
			現状	目標	達成度	目標年度
指標1	スポーツ事業参加者変動(教室事業除く) 目標:(平成11年度から平成14年度参加者変動率)×H14年度参加者数	スポーツ大会の参加者数の変動等を考察することにより、市民ニーズを評価する。	35,112 人 単位	0 50 100	98.1%	18
			35,779 人 単位			達成度
指標2	相模原市体育協会・スポーツ少年団加盟者変動 目標:(平成11年度から平成14年度加盟者変動率)×H14年度加盟者数	相模原市体育協会加盟者数の変動等を考察することにより、市民へのスポーツ振興を評価する。	56,540 人 単位	0 50 100	98.9%	18
			57,162 人 単位			達成度
指標3	スポーツ教室事業定員に対する参加率 各年度参加者数÷各年度募集定員×100	スポーツ教室事業の定員に対する参加率を考察することにより、市民ニーズを評価する。	65.6 % 単位	0 50 100	72.9%	18
			90 % 単位			達成度

5 必要性…市民ニーズに合っているか、行政需要の変化に対応しているか

本市のスポーツ事業は伝統のある事業が多いことから、市民ニーズに即応した事業転換などが柔軟に対応できない状況がある。生涯スポーツへの意欲の高まりや市民ニーズのますますの多様化・高度化などから、子どもから高齢者に至るまで市民のライフステージに対応する新たな事業の展開が求められる。

6 有効性…期待される効果があがっているか

幅広い年齢層を対象に各種教室や大会等の機会を提供しているが競技性の高い大会などにおいては参加者の固定化が見られる。このため、幅広い市民の誰もが、それぞれの体力や年齢、技術、興味・目的に応じ、いつでも、どこでもスポーツに親しみ実践できる事業展開や地域主導のスポーツ振興への転換を図り生涯スポーツ社会の実現が必要である。

7 効率性…費用対効果が優れているか、もっと大きな効果が得られるものはないか

「楽しみ」、「健康」、「交流」の視点に立ち、市民が生涯にわたってスポーツを楽しみ、身体健康や心の豊かさを育むなどのスポーツ事業を実践する必要がある。また、各種スポーツ事業を通じ市民を一堂に会し、市民相互の交流を深めるスポーツ事業の展開や地域住民が主体となる生涯スポーツの普及振興策が望まれる。

8 市民満足度調査結果からの分析(平成15年度調査)

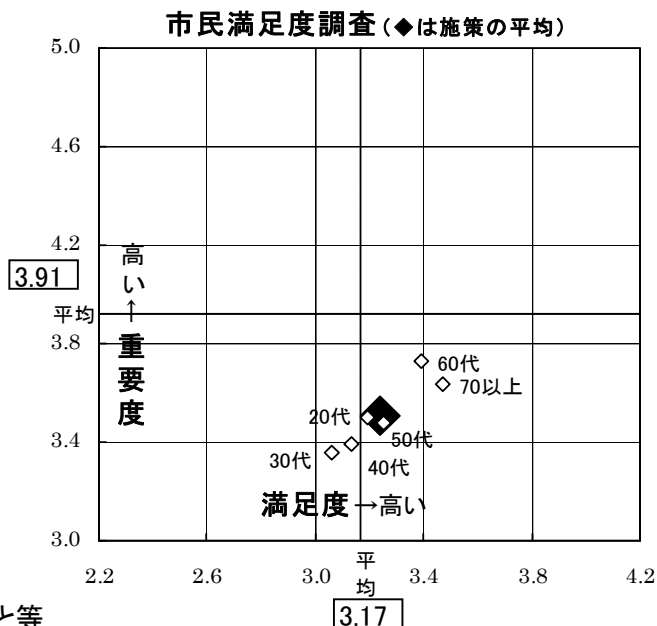
◆この施策の満足度は、3.237で、調査した51施策の中で15番目です。

◆この施策の重要度は、3.509で、調査した51施策の中で47番目です。

◆この施策の改善要望度は、0.192で、調査した51施策の中で47番目です。

◇年齢別にみると、満足度及び重要度ともに60歳代以上で高く、30歳代、40歳代で低くなっています。満足度が高いほど重要度も高い傾向がみられます。

市民満足度調査は、基本施策51項目(節)について調査しています。したがって、上位の基本施策が同じ場合は同じ内容となっています。(「〇総合計画における位置付け等」参照)

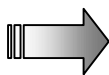


9 課題…施策を実現するにあたり、課題となっていること等

- ・スポーツ振興の主役となる市民の意識の高揚等
- ・地域主導型のスポーツ振興への転換に伴う地域におけるスポーツ施設(学校体育施設等)のスポーツ環境の整備・充実
- ・市民ニーズに対応できる質の高いスポーツ指導者の養成、確保

10 今後の方向性(一次評価)

今後の方向
<input checked="" type="checkbox"/> 拡充する
<input type="checkbox"/> 現状維持する
<input type="checkbox"/> 見直し



説明及び具体的内容

市民一人一人が健やかな生活を送るためには、日々の暮らしの中で運動やスポーツに親しむことが大切であり、このため、誰もが気軽に楽しめる事業の展開や、身近な健康づくりが実践できる取組みを進め、さらには、子どもから高齢者まで、誰もがスポーツ・レクリエーション活動を楽しむことができるよう、新たな施策の展開が必要となる。

11 2次評価

説明

- | | |
|---------------------------------------|---|
| <input type="checkbox"/> A | 市民が個々のニーズに応じて主体的にスポーツ・レクリエーション活動ができるような支援策を検討すること。また、市の主催事業については「自ら行う健康づくり」など他の施策と連携した取組みを検討すること。 |
| <input type="checkbox"/> B | |
| <input checked="" type="checkbox"/> C | |

12 外部意見

説明

公共と民間の役割分担を見直し、事業の再構築を行なうべきである。

施策名 スポーツ・レクリエーション活動の促進

施策コード 15210

構成事務事業一覧

事務事業名	担当課	評価年度	決算額(千円)	人員(人)	評価の概要									施策中の優先順位
					総合評価	達成度	必要性	効率性	代替性	満足度	有効性	公平性	今後の進め方	
スポーツ振興審議会経費	スポーツ課	14	1,772	0.20	A	B	B	A	B	B	B	継続	1	
(財)相模原市体育協会補助金	スポーツ課	14	36,648	0.08	A	B	B	A	A	B	A	継続	2	
体育指導委員活動推進費	スポーツ課	14	27,734	0.80	AA	B	A	A	A	B	A	継続	3	
各種体育大会等実施事業	スポーツ課	15	66,813	0.61	A	A	B	B			A	A	継続	4
身体障害者スポーツ大会	障害福祉課	15	4,109	0.35	AAA	A	A	A			A	A	継続	5
地域体育活動費	スポーツ課	14	1,992	0.10	A	B	A	A	B	B	A	継続	6	
総合体育館自主事業費	スポーツ課	15	6,601	0.50	AA	A	A	A			A	A	継続	7
北総合体育館自主事業費	スポーツ課	15	5,885	0.50	AA	B	A	A			A	A	継続	8
総合水泳場自主事業	スポーツ課	15	6,256	0.50	A	B	A	A			B	A	継続	9
身体障害者スポーツ講座	障害福祉課	15	741	0.01	AAA	A	A	A			A	A	継続	10
社会体育普及奨励事業	スポーツ課	14	11,745	0.10	AA	C	A	A	A	B	A	継続	11	
各種体育大会選手出場奨励事業	スポーツ課	15	3,459	0.10	AA	B	A	B			B	A	継続	12
スポーツ大会等開催・誘致奨励補助金	スポーツ課	14	51	0.01	A	C	A	A	A	C	A	継続	13	
学校開放体育施設開放事業	スポーツ課	15	17,722	0.50	AAA	A	A	A			A	B	継続	14
学校屋外運動場夜間開放事業	スポーツ課	15	8,534	0.10	AA	A	A	A			A	A	継続	15
学校プール開放事業	スポーツ課	15	19,676	0.05	A	A	B	B			A	B	継続	16

合計 16 事務事業 219,738 4.51 千円 人 平成14年度評価: 達成度、必要性、効率性、有効性、代替性、満足度
 平成15年度評価: 達成度、必要性、効率性、有効性、公平性